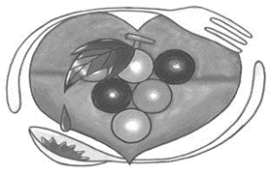
＊給食だより＊



令和８年１月　池田町学校給食センター

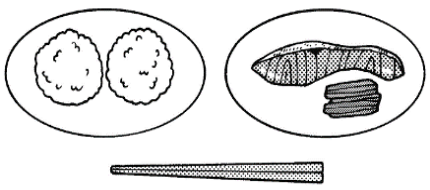
学校給食週間について

１月２４日から３０日は全国学校給食週間です

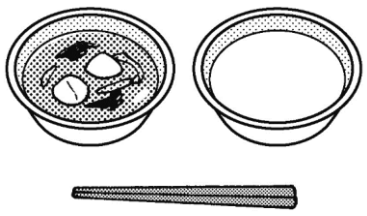
明治２２年に始まった学校給食は、戦争により一時中断しましたが、アメリカのＬＡＲＡ（アジア救済公認団体）などの物資援助を受けて再開されました。昭和２１年１２月２４日に給食物資の贈呈式が行われ、その後、給食の意義や役割について理解や関心を深める週間として、冬休みと重ならない１月２４日～３０日が「全国学校給食週間」になりました。

学校給食の歴史

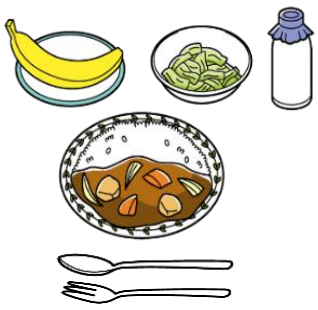
【明治２２年】
山形県の忠愛小学校で、家が貧しい子どもたちに無償でおにぎり、塩さけ、漬物を提供されたことが学校給食の始まりとされています。



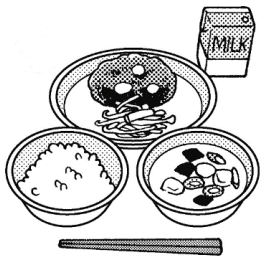
【昭和２２年】
ララの物資援助を得てトマトシチュー、ミルク（脱脂粉乳をお湯で溶かしたもの）が提供されました。



【昭和５２年頃】
米飯給食が導入され、メニューが多様化し、献立内容が充実してきました。

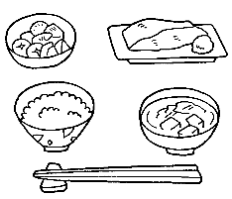


【現在】
地域の食材が豊富で栄養バランスが良く、毎日食べている給食を通してたくさんのことを学んでいます。

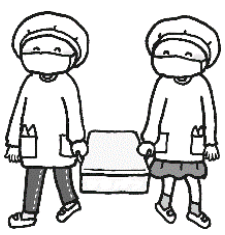


● 学校給食はおいしい教材 ●

給食は、おいしい食事で体の成長を支えるだけでなく、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために、重要な役割を果たしています。

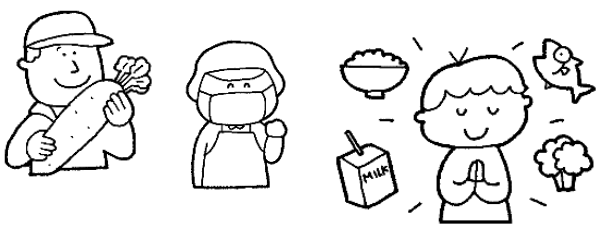


望ましい食生活のお手本になる

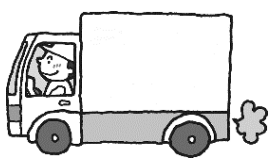


助け合い、協力し合う社会性を身につける

地域の食文化を知り、未来に伝える



働くことを尊び、自然の恵みに感謝する心を育てる



食料の生産・流通・消費の正しい理解に導く

健康な体をつくる

♫がんばって育てたもち米が登場♫

池田小学校３年生が５月から育てたもち米がいよいよ給食に登場します！今年は 59.4kg と、約１俵（！！）もの大豊作だったため、一部を３年生の各家庭に持ち帰っていただき、残りを給食センターで使わせていただきます。３年生にアンケートをとったところ、赤飯が一番人気という結果に。３年生に「美味しそうな名前を考えてください。」とお願いしたところ、「**ほくほくおせきはん**」というほっこりする名前に決まりました。もち米は２月にも別メニューで使用予定です。お楽しみに♫

【池田小で実施した給食総選挙について】

主菜 No.1 は揚げ餃子でした！！15 日に登場します♫主食、副菜、汁物については２月、３月に登場予定ですのでお楽しみに☆